

プレスリリース

大使館の美術展 III -文化交流随想- 駐日チュニジア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part III: Pathways to Cultural Exchange with the World
Embassy of the Republic of Tunisia in Japan



東京富士美術館は、これまで世界 34 カ国・地域の美術館や文化機関と友好関係を築きながら、各国の優れた芸術を新たな視点で紹介する海外文化交流特別展を開催してまいりました。

51 回にわたる海外文化交流特別展の歴史は、そのまま当館の文化交流の足跡を物語っています。

昨年より開始した新企画「大使館の美術展」では、日本国内の大使館から貴重な作品をお借りし、好評を博しております。今回、チュニジア共和国大使館のご協力を得て、厳選された約 10 点の作品をご紹介します。

展示では、アマジグ族に由来する紋様が施された品々や、新石器時代から伝わるセジュナン焼き、カルタゴ文字の書、古代ローマ時代から続く精巧なモザイク画や銀細工のほか、現代の暮らしの中に息づくナブール焼きやオリーブを用いた工芸品など、チュニジアの歴史と伝統を体現する貴重な品々が並んでいます。本展は、駐日チュニジア共和国大使館が所蔵する作品を厳選し紹介するものです。古代ローマ時代から続く精巧なモザイク画や、セジュナン焼、ナブール焼、銀細工といった現代の暮らしの中にも息づく伝統工芸、チュニジアの風景や人々の暮らしを伝える絵画やカルタゴ文字の書、伝統衣装に至るまで、大変充実した内容となっており、チュニジアの豊かな芸術と文化をご堪能いただける貴重な機会となっております。

会期中には、講演会やワークショップを開催予定です。

ぜひ、チュニジアの文化を存分にお楽しみください。

◆開催概要

展覧会名： 大使館の美術展 III ―文化交流随想― 駐日チュニジア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part III: Embassy of the Republic
of Tunisia in Japan - Pathways to Cultural Exchange with
the World -

※同時開催 ヨーロッパ絵画 美の 400 年 （本館／企画展示室）

西洋絵画 ルネサンスから 20 世紀まで（新館／常設展示室 第 1-6 室）

会 場： 東京富士美術館(〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1)

新館／常設展示室 第 7 室

会 期： 2025(令和 7)年 10月4日(土)～2026 年 1月18日(日)

休館日：毎週月曜日 ※10月13日(月祝)、11月24日(月休)、1/12(月祝)は開館

開館時間：10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金：大人1,000(800)円、大高生600(500)円、中小生300(200)円、未就学児無料

※全ての展示室をご覧になれます ※()内は各種割引料金[20名以上の団体、65歳以上の方、当館公式SNS登録者ほか] ※土曜日は中小生無料 ※障がい者、付添者1名は通常料金の半額[証明書をご提示ください]

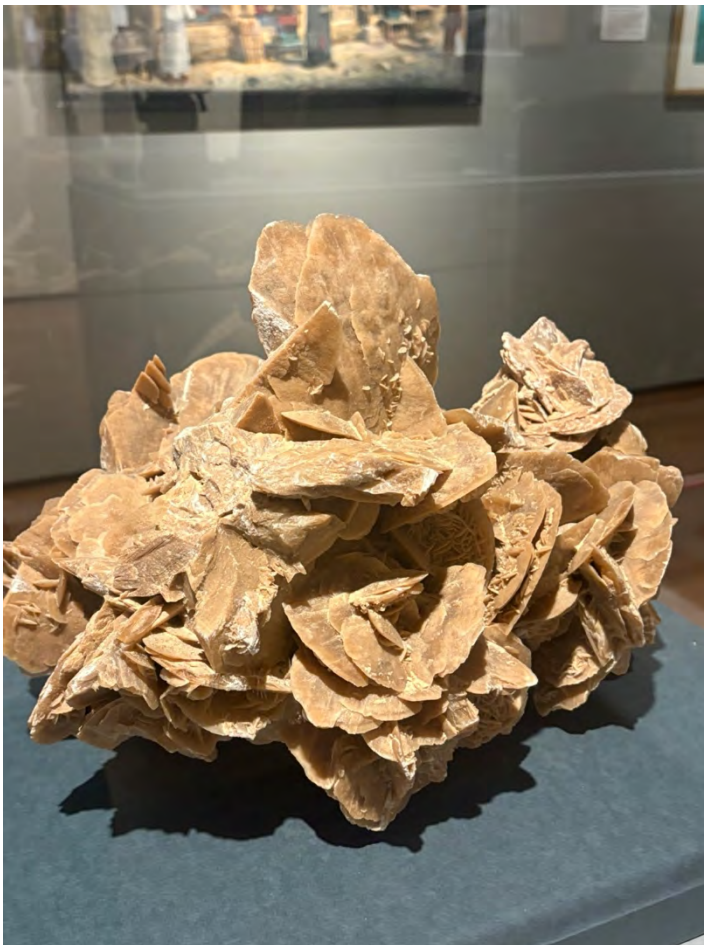
主催：東京富士美術館、駐日チュニジア共和国大使館

◆展示構成

出品作品

主な作品をご紹介します。出品作品一覧につきましては、別紙をご確認ください。

《砂漠のバラ》



本作は、石膏や重晶石がチュニジア南部のサハラ砂漠の砂粒とともに結晶化したもので、「砂漠のバラ」と呼ばれる。風と水が織りなす自然の手によって紡がれたこの花のような形は、数千年という悠久の歳月と偶然の重なりが生み出したもの。その力強い姿は、過酷な環境のなかで美が静かに育まれ、生命の息吹を感じさせるかのようである。



《魚のモザイク画》

古代ローマ時代に起源を持つチュニジアのモザイク画は、石や大理石を細かく砕いた小さな立方体（テッセラ）が用いられる。魚を描いたモザイク画はチュニジアのローマ都市遺跡でしばしば発見される題材である。魚は古代ローマにおいて幸福や豊かさを象徴し、キリスト教においてはイエス・キリストを象徴するものとして描かれることが多く、本作にもそうした文化的背景が込められている可能性がある。

《セジュナン焼き》

セジュナン焼きは、チュニジア北部のセジュナン地方に伝わる伝統的な陶器で、その起源は新石器時代にさかのぼる。

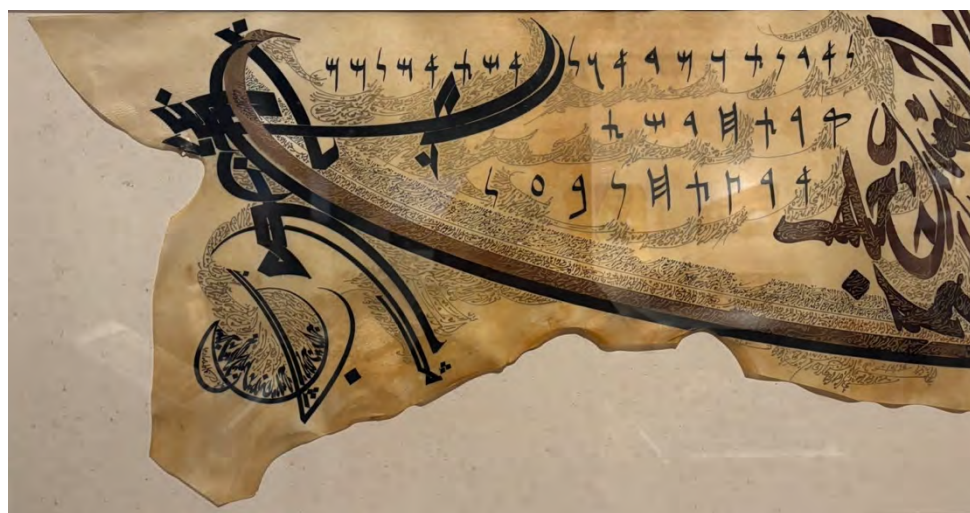
地元の女性たちが代々受け継ぎ、手びねりによって成形し、天然の顔料で幾何学模様や動植物の文様を描く。その素朴で力強い造形は、地域の自然や生活と深く結びつき、チュニジアの豊かな民俗文化を今に伝えている。2018年にはユネスコの無形文化遺産に登録された。

《銀細工の品々》



チュニジアの銀細工は、古代カルタゴやローマ時代（前9世紀～後5世紀頃）に培われた金属工芸の伝統を基盤とし、イスラーム化以降（7世紀以降）はアラブやアマジグ（ベルベル）文化の意匠が融合、さらにオスマン帝国支配下（16～19世紀）に多彩な装飾技法が発展した。婚礼用の装身具に加え、箱や鏡、ティーポットや盆といった日用品にも精緻な装飾が施され、家庭や儀礼の場を彩った。オリーブの木やサンダルをかたどった作品には、地中海的な象徴性や生活文化が表現されており、職人の高度な技術と地域の美意識を今に伝えている。

ナジャ・マハダウイ（1937-）《カルタゴ語の書》



カルタゴ語は、アルファベットの元となったフェニキア文字で書かれた言語であり、この文字は紀元前8世紀頃、フェニキア人によって北アフリカに伝えられた。主に石碑や墓標など耐久性のある媒体に、宗教的・個人的な情報を記録するために用いられた。

本作の作者マハダウイは、国際的に活躍するア

ーティストで、アラビア書道の伝統を現代的表現へと解き放っている。「文字の振付師」として知られ、伝説や神話、物語に着想を得た書や文章を力強く構成する革新的な作風で世界的に高く評価されている。木材やアルミニウムなど様々な支持体を用いるが、特に羊皮紙に描かれた作品がよく知られている。

《チュニジアの伝統衣装》



チュニジアの伝統衣装「ジェッパ」は、アマジグ（ベルベル）文化を起源とし、アラブ、オスマン帝国、地中海交易の影響を受けて発展した。

女性用は鮮やかな布地に金銀糸の刺繍を施し、男性用はゆったりとした長衣で格式と威厳を示している。

「シャシーヤ」と呼ばれるフェルト製の帽子は、無地のものが男性用、装飾付きのものが女性用である。

現代でも婚礼や祝祭の場においては伝統衣装が重んじられている。

アユーブ・ハッサン・アル＝アユービ（生没年不詳） 《アラビアの情景》



本作は、チュニジアのスーク（市場）の活気ある日常を描いた作品である。スークは8世紀頃から発展した伝統的な市場で、商業と社会生活の中心地として機能してきた。画面には土壁の建物が立ち並ぶ通りが緻密に描かれ、温かみのある色調と日差しによる陰影が印象的である。登場する人物たちはチュニジアの伝統衣装を身にまとい、市場の営みの一部として静かに存在感を放っている。

歴史的な街並みと人々の生活を通して、チュニジアの豊かな文化と歴史が表現されている。

◆関連イベント

※詳細につきましてはホームページ www.fujibi.or.jp にてお知らせします。

アラビアデザインとアラビア書道ワークショップ

日時：11月8日（土）11:00／15:00

講師：バスマ・ラリビ（東京農業大学講師）ほか
予約不要

チュニジアモザイクワークショップ

日時：11月22日（土）14:00～

講師：福元麻貴（チュニジア共和国大使館職員）

事前申込制

申込 URL→ <https://forms.gle/WU19veXXKyG8LRt5A>



講演会 歴史と絶景を楽しむチュニジアの世界遺産

日時：11月29日（土）14:00～

講師：日高健一郎（筑波大学名誉教授、工学博士）

予約不要

ジャスミン香るアロマコロンワークショップ

日時：12月13日（土）11:00／14:00

講師：ケミリー園子（IAA 国際アロマニスト協会、日本チュニジア友好協会理事）

事前申込制

申込 URL→ <https://forms.gle/MwjG6Zsks8fu6FQa7>





Arabesque

アラビアデザインとアラビア書道
ワークショップ
November 8th 2025

2025年
11月22日(土)
14:00~

東京富士美術館
会議室

駐日チュニジア共和国大使館展 開催記念

チュニジアモザイクワークショップ

Tunisian Mosaic Workshop

古代ローマ時代から伝わるチュニジアのモザイク。歴史と芸術の魅力を感じながら、美しい伝統技法を体験してみませんか？

講師
福元麻貴
駐日チュニジア共和国大使館職員

【ご注意事項】
◇対象年齢は小学生以上となります
◇定員は10名。お申込みは1家族2名様までとなります
(応募者多数の場合は抽選)
◇1~2時間程度のワークショップとなります
◇応募締切は、11月15日(土) 17:00です。参加の可否については翌16日(日)中にEメールにてご連絡いたします

参加費無料！お気軽にご応募ください★
お申し込みはこちらから →

駐日チュニジア共和国大使館展記念

講演会

- 歴史と絶景を楽しむチュニジアの世界遺産 -

チュニジアにはカルタゴをはじめ、9件の世界遺産が登録されています。その豊かな歴史と文化の魅力について、筑波大学名誉教授の日高健一郎氏をお招きし、お話しいたします。ぜひご参加ください。

講師
Kenichiro Hidaka
日高健一郎 氏
筑波大学名誉教授、工学博士

2025年 **11月29日【土】**

時間 14:00~ 1時間程度

会場 東京富士美術館 本館
ミュージアムシアター

定員 150名 (申込不要・先着順)

※当日、13:30までにミュージアムシアター前にお並びください

FAM TOKYO FUJII ART MUSEUM
東京富士美術館

ジャスミン香る アロマコロンワークショップ

JASMINE-SCENTED AROMA COLOGNE WORKSHOP

場所：東京富士美術館 会議室
日時：12月13日(土) 11:00/14:00
各回 1時間程度

チュニジアの国花ジャスミンを使って、
あなただけのオリジナルアロマコロンを
作ってみませんか？
大阪万博チュニジア館の香りを再現する、
特別なひとときをお楽しみください。

- 【ご注意事項】
- ・事前申込制となります。下のQRコードよりお申し込みください
 - ・定員は各回15名です。お申し込みは1家族2名様までとなります
 - ・対象年齢は小学生以上となります
 - ・ご参加料金は500円(税込)となります。当日、現金でお支払いください
 - ・応募締切は12月6日(土)17:00です。参加の可否については翌7日(日)中にEメールにてご連絡いたします



講師
ケミリー園子
IAA国際アロマニスト協会
日本チュニジア友好協会 理事

FAM TOKYO FUJII ART MUSEUM
東京富士美術館

お申し込みはこちらから →



◆レストラン セーナからのお知らせ

駐日チュニジア共和国大使館展開催記念！ ティータイムセットのご案内

東京富士美術館レストラン・セーナでは、駐日チュニジア共和国大使館展の開催を記念して、Ozmall 限定の特別ティータイムケーキセットをご提供いたします。チュニジアの豊かな文化と味わいをお楽しみいただける、この機会だけの特別メニューです。

チュニジアの風味を彩るティータイムセット

・オレンジケーキ

チュニジアはオレンジ栽培が盛んな国。フレッシュなオレンジの香りを生かしたケーキで、現地の果実の恵みを感じていただけます。

・マクルード

ナツメヤシのペーストやナッツを詰めた、伝統的なチュニジア菓子。特徴的なひし形（ダイヤモンド形）に成形され、その形は「切る」を意味するアラビア語「qarada」に由来しています。セモリナ粉と小麦粉の生地で作られ、素材の風味が活きた甘さ控えめの味わいです。

・ミントティー

チュニジアのおもてなし文化を象徴する一杯。爽やかなミントに松の実を添え、香り高く健康にも嬉しいお茶に仕上げました。

文化を感じるディテール

・マクルードやティーセットには、チュニジア伝統のひし形模様「レグマ」を取り入れています。この模様は現地女性たちの手織り絨毯に見られるもので、豊穡の象徴とされています。

・ジャスミンの折り紙を添え、チュニジアの国花が表す人々の温かさとおもてなしの心も演出しました。

・デーツは豊富な栄養を含み、美容や健康にも効果的です。便秘解消やむくみ予防、アンチエイジングなど、日常のケアにも役立つ食材です。

本場の味わいと文化に触れられる、特別なティータイムをこの機会にぜひご堪能ください。

Ozmall 限定予約はこちらから

<https://www.ozmall.co.jp/restaurant/9649/>



Tea Time Cake Set

チュニジア大使館展開催記念 ティータイムケーキセット

チュニジアのスイーツをイメージしたケーキセットで
ステキなティータイムをお過ごしください♪

美術館展覧会鑑賞チケット付き

ティータイムケーキセット

¥2,800 (税込)

Ozmall限定
ご予約はこちらから



TUNISIA



※写真はイメージです。

◆大使からのメッセージ

ご来場の皆様

東京富士美術館でのわが国についての素晴らしい展覧会にお越しいただきました皆様を、チュニジアの政府と国民を代表して、お迎えできることは、私にとって大変名誉なことです。

チュニジアと日本は 1956 年に外交関係を結び、2026 年には国交樹立 70 周年を迎えます。この確固たる関係は経済的、文化的、そして社会的な絆によって強く育まれてきました。

チュニジアは、豊かで長い歴史があり、建築物や、貿易、文化において著しい功績を達成し、今でも世界に影響を与え続けているカルタゴのような偉大な文明の発祥地でもあります。また、多様な自然と文化遺産もあり、地中海沿岸からサハラ砂漠まで、比類ない風景がみられ、他では味わうことのできない体験ができます。

この展覧会で、皆様はチュニジアの人々、伝統、そして様々な観光地や特産物など、チュニジアの魅力をもっと発見することができるでしょう。

自信を持って未来へ向かいながらも、祖先からの遺産を守り続けている国である、チュニジア。

そのチュニジアが持っている不思議な魅力をぜひお楽しみください、そしてたくさん刺激を受けてください。

さあ、ようこそ！



アハメッド・シャッフラ

駐日チュニジア共和国特命全権大使

◆ チュニジア共和国とは

チュニジア共和国は、北アフリカの地中海沿岸に位置し、古代カルタゴ文明に起源を持つ長い歴史を誇る国です。ローマ時代の円形劇場やアラブ・イスラム建築のモスク、城塞都市など、多くの歴史的建造物が現存し、観光地としても人気があります。地中海沿岸の美しい海岸線や砂漠、オリーブやオレンジの果樹園など、変化に富んだ自然環境にも恵まれています。

文化面では、アラブ・イスラムの伝統と地中海文化が融合し、手工芸や絨毯、陶器、伝統菓子などにその特色が表れています。言語もアラビア語を中心にフランス語が広く用いられ、多様な文化が日常生活に息づいています。長い歴史を背景に築かれた伝統と美しい自然を大切にしながら、現代のチュニジアは文化・芸術・観光の分野で世界と積極的に交流し、その魅力を広く伝えています。



カルタゴ遺跡



シディ・ブ・サイド



アフリカ最古のウフバモスクの内部



ホテル・シディ・ドリス（スターウォーズロケ地）

◆東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受彰。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロココ・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになりました。



問い合わせ先：TEL 042-691-4511 FAX 042-691-4623

E-mail: toiawase@fujibi.or.jp

大使館の美術展III ー文化交流随想ー 駐日チュニジア共和国大使館 作品リスト

List of Works: Exhibitions of Embassies Part III: Embassy of the Republic of Tunisia in Japan – Pathways to Cultural Exchange with the World

	タイトル / Title	作者名 / Artist	制作年 / Year	材質・技法 / Material and Technique
1	砂漠のバラ Desert Rose	自然形成 Natural Formation	不詳 Unknown	鉱物(石膏または重晶石)、砂 Minerals (Gypsum or Baryte) and Sand
2	シディ・ブ・サイドの鳥籠 Sidi Bou Said Birdcage	不詳 Unknown	現代 Contemporary	鋼鉄、木、彩色 Steel wire, Wood and Paint
3	チュニジアの情景と人々 Scenes and People of Tunisia	高田京子(1960-) Kyoko Takada (b. 1960)	現代 Contemporary	写真 Photograph
4	ハンニバル・バルカ像 Statue of Hannibal Barca	不詳 Unknown	現代 Contemporary	銅 Bronze
5	レスリングのモザイク画 Mosaic of Wrestlers	不詳 Unknown	現代(原作 古代ローマ時代) Contemporary (Original: Ancient Roman Period)	石、大理石 Stone and Marble
6	魚のモザイク画 Mosaic of Fish	不詳 Unknown	現代(原作 古代ローマ時代) Contemporary (Original: Ancient Roman Period)	石、大理石 Stone and Marble
7	セジュナン焼き Sejnane Pottery	不詳 Unknown	現代(原作 新石器時代) Contemporary (Original: Neolithic Period)	テラコッタ、彩色 Teracotta and Paint
8	セジュナン焼き の皿 Sejnane Pottery Plates	不詳 Unknown	現代(原作 新石器時代) Contemporary (Original: Neolithic Period)	テラコッタ、彩色 Teracotta and Paint
9	カルタゴの女神 タニト Tanit, Goddess of Carthage	不詳 Unknown	現代 Contemporary	テラコッタ、釉薬 Glazed teracotta
10	アマジグ様式の陶器 Amazigh-style Pottery	不詳 Unknown	現代 Contemporary	テラコッタ、彩色 Teracotta and Paint
11	アマジグ様式のラグと織機の模型 Amazigh-style Rug and Model Loom	不詳 Unknown	現代 Contemporary	羊毛、綿、木 Wool, Cotton and Wood
12	銀細工のセット Silver Works	不詳 Unknown	現代 Contemporary	純銀 Sterling Silver
13	オリーブの木製品 Olive Wood Crafts	不詳 Unknown	現代 Contemporary	木 Wood
14	ナブール焼きの大皿 Nabeul Pottery Large Plate	不詳 Unknown	現代 Contemporary	陶器、釉薬、彩色 Glazed and Hand-painted
15	鍋敷き Trivet	不詳 Unknown	現代 Contemporary	テラコッタ、釉薬、彩色 Glazed and Hand-painted Terracotta
16	ミントティーグラス Mint Tea Glasses	不詳 Unknown	現代 Contemporary	ガラス、彩色 Enamel-painted Glass
17	ナブール焼きのティーセット Nabeul Pottery Tea Set	不詳 Unknown	現代 Contemporary	陶器、釉薬、彩色 Glazed and Hand-painted
18	シディ・ブ・サイドの集い Gathering at Sidi Bou Said	不詳 Unknown	現代 Contemporary	水彩、紙 Watercolor on paper
19	アラビアの情景 Arabian Scene	アユーブ・ハッサン・アル＝アユービ(生没年不詳) Ayub Hassan Al Ayubi (b. Unknown)	現代 Contemporary	油彩、カンヴァス Oil on canvas
20	カルタゴ語の書 Carthaginian Calligraphy	ナジャ・マハダウイ(1937-) Nja Mahdaoui (b. 1937)	現代 Contemporary	羊皮紙、インク Parchment and Ink
21	チュニジアの伝統衣装 Traditional Tunisian Attire	不詳 Unknown	現代 Contemporary	綿、絹、麻 Cotton, Silk, and Linen